

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援 マイスペース			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～	2025年 12月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～	2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作業療法士、保育士、教員資格や強度行動障害実践研修了、自閉スペクトラム症についての知識等、専門性を持った職員が対応している	・職員間で月1～2回の研修や勉強会を行っている。 ・職員会議時はもちろんのこと、日々職員間での連携をしっかりとるようにしています。	・職員個人の積極的な研修参加を促し、さらに知識を深めていきご利用者様主体の支援を行っていく。
2	・成人後の就労や生活介護に向けて、学校、相談支援事業所や地域事業所と連携し進めていきます。	・関係機関と連絡を密に取り連携しています。 ・生活リズムを整え、挨拶、礼儀を大切に、職員見守りの中自立支援をしっかりと行っていきます。	・スモールステップから始め、できた、嬉しい、という成功体験を積んでいただくように、職員共有して支援してまいります。
3	・送迎時や連絡帳、メール等のツールを使い、保護者との連携を深め、発達課題等について共通理解を持っている。	・送迎時の申し送りを重視するとともに、年2回の個人懇談、連絡帳、メール等の連絡ツールを充実させ連絡が取りやすい形を取っていきます。	・個人懇談については保護者の参加しやすい時間帯での開催を検討するなどしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童間での他害行為による怪我がある。	・クールダウンする場所の確保。落ち着ける環境作り。	・児童同士の相性も考え、過ごす場所の確保。 ・パーティションなども取り入れ落ち着ける場所の確保、公園活動等も取り入れ、活動内で工夫していく。
2	・アンケートでは「職員の配置数がわからない」「新学期に職員の紹介プリントが欲しい」「ブログの更新を増やしてほしい」との声がある。	・見学時には室内での職員と児童の関わりを見ていただいているが、実際ご利用を開始されてから保護者が事業所内を見る機会があまりない。	・今より更に、ブログやHPでの発信、保護者へのご利用時の写真送付なども行い、どのように過ごしているか知っていただくとともに、随時事業所見学の機会を作り実際に過ごしている様子を見ていただくようにする。
3	・父母の会、保護者会の開催がない、との声がある。	・感染症の影響があり、開催を見送っていた。	・感染症が落ち着きましたら開催を考えていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援 マイスペース					公表日	2026年 2月 12日		
						利用児童数	6	回収数	2
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	0%	0%	0%	100%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	50%	0%	0%	50%				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50%	50%	0%	0%				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	50%	50%	0%	0%				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50%	50%	0%	0%				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50%	0%	0%	50%				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	0%	100%	0%	0%				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	0%	50%	0%	50%				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	50%	0%	0%	50%				
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	50%	0%	0%	50%				
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50%	0%	0%	50%				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0%	0%	100%	0%				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	50%	50%	0%	0%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0%	0%	50%	50%				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	50%	0%	0%	50%				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0%	0%	50%	50%				
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	50%	50%	0%	0%					

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援 マイスペース
------	---------------

公表日 2026年 2月 12日

利用児童数 6 回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50%	0%	50%	0%		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	0%	0%	100%	0%		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50%	0%	0%	50%		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%	0%	50%	0%		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0%	0%	0%	100%		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0%	0%	0%	100%		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	0%	0%	0%	100%		
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%		
	29 事業所の支援に満足していますか。	50%	50%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 マイスペース		公表日		2026年 2月 12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・部屋が複数あるのでできるだけ偏らないようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・個別対応に必要な児童もいるので一日に6~7人の職員を配置しています。	・送迎の為職員が出ている場合、一時的に児童に対しての職員数が少なくなる時がある。安全確保の為職員数の調整をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・車椅子児童が通りやすいようスロープの設置、トイレや階段への手摺設置をしています。絵カード等を用い視覚支援を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・児童の触れる玩具等は終業後の掃除の際定期的に洗浄、消毒を行い、清潔を保つようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個々のご様子により、必要だと判断した場合は職員誘導のもと、個別の部屋や場所をご利用いただいています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・定期的に職員会議等で話し合いを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者様からのご意見は職員間で話し合い、改善していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・定期的な職員会議、朝夕の打ち合わせ、振り返りなどで意見を共有し改善につなげていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%		・今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・外部の研修に出かけ、持ち帰った情報は職員間での勉強会を開き共有しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・定期的な職員会議で意見を出し合い検討しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・職員間での共有をしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90%	10%	・発達検査等のフォーマルなアセスメントに加え、インフォーマルなアセスメントの方が多い傾向にある。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	・職員会議時や朝夕の打ち合わせ時に意見を出し合い決めていきます。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・工作プログラム等、毎月違った取り組みになるよう工夫しています。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 マイスペース		公表日		2026年 2月 12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	90%	10%	・午前より勤務の職員間で打ち合わせを行い、その日の支援等の内容、役割分担については職員間の連絡ツールを使って共有するようにしています。	・午後から勤務の職員にも連絡ツールを使い共有していますが、見落としがちなよう口頭でも伝えていきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・児童送迎終了後には職員間で振り返りを行い、職員間連絡ツールを使い、欠席職員にも内容把握できるようにしています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・児童連絡帳とは別に日々支援記録を記入し、支援の内容について職員間で話し合う時間を設けています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・職員会議時や、必要があればその都度モニタリングを行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・事業所代表や児童発達支援管理責任者、そして関わりの深い職員が参加するようにしています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・関係機関とは定期的にケース会議を行い情報の共有を行っています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・保育所や幼稚園などと情報共有の為にケース会議を行っています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・就学時の移行の際にはケース会議等を行い、情報共有を行っています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	90%	10%	・児童への接し方等助言を受け、職員間で共有しています。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%		・感染症の影響で地域との接触を控えています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時、事業所電話やメールなどのツールを使い、事業所での様子をお伝えするとともにご家庭での様子や困りごとをお聞きし共有しています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	70%	30%		・今後検討していきます		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に契約書、重要事項説明書を通じて説明を行っています。			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 マイスペース		公表日		2026年 2月 12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・個人懇談会や送迎時に保護者様の意向をお聞きさせていただいています。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・送迎時の保護者とのお話、事業所電話やメールなどのツール、個人懇談会等で保護者からの相談を受け、助言し、その内容に応じた支援を行っています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%		・感染症の影響もあり、現在は行っておりませんが、ご希望があれば随時考えていきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・日々の連絡帳で様子や活動予定をお伝えするとともに、ブログや連絡ツールでご連絡するようにしています。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・絵カードやホワイトボード等、視覚支援で意思疎通できるように配慮しています。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		・コロナや他感染症の影響で地域との交流は控えております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	90%	10%		・ご家族様に今一度周知いたします。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・BCPを算定し、定期的に児童避難訓練（火災、地震）を行い、他に職員間での避難時の想定訓練を行っています。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・契約時には服薬の内容、てんかん発作時の対応についてお聞きしていますが、薬の変更時、発作時にもご連絡いただけるようお願いしています。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・食物アレルギーのある児童については、おやつはご持参いただいています。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・職員間で研修を行っておりますが、今後も定期的に研修を行い共有してまいります。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・今一度ご家族様への周知を徹底してまいります。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		・職員間で共有し、再発防止に向けて策を考えてまいります。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・毎月の職員会議時に虐待防止の研修をしています。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	70%	30%		・身体拘束は行いません。契約書、重要事項説明書にも記載し、契約時にご説明させていただいています。	